



2019新春のつどい 開催

市民と野党の共闘で暮らしを守る政治に変えよう!



統一地方選挙・参議院選挙で勝利して暮らしを守る政治に!

2月3日、はまなす会館において、日本共産党夕張市委員会と夕張総合後援会の共催で、新春のつどいが開催されました。

例年になく降雪が続く夕張ですが、この日は久々の晴天で、参加者は、輪投げ・消費税・大軍拡・改

なす会館において、楽しみました。

冒頭、夕張総合後援会長の熊谷泰昌さんが挨拶し、くまがい桂子夕張市議が、「安倍政権のもと私たち市民の生活がますます苦しくなりま

憲・沖縄新基地・原発・日領土問題等が噴出して、北

海道新聞でも「偽装」疑惑が報道され、上がったと言われた賃金は本当は下がっています。

夕張問題も国の様々なことが隠ぺいされ、偽装されてきたことを市民に改めて訴え、安倍政治を終

道知事候補に石川知裕氏 野党4党と市民が統一確認



石川知裕氏 (北海道新聞より)



左から、社民党道連浅野幹事長、日本共産党道委員会青山委員長、市民の風・北海道土田共同代表、国民民主党道連徳永代表(しんぶん赤旗より)

2月9日、紅葉山橋見団地において、くまがい桂子市議と後援会メンバーによる街頭からの訴えが行われました。

くまがい桂子市議は、「今年こそ、ウソとゴマカシの政治をなくして、誠実な政治を取り戻さなければなりません。ところが年明け早々、毎月勤労統計の不正・偽装が明らかになりました。雇用保険や労災保険などで、2000万人もの国民が537億円もの被害を受けました。過労死で亡くなった方の遺族年金まで減らされたのです。その上厚労省は、昨年一月に不正なデータをひそかに「修正」し、安倍首相は「過去最高の賃上げ」と自画自賛していました。4月の統一地方選挙と夏の参議院選挙では、市民と野党の共闘で、「憲法を守り、原発再稼働に反対、暮らしを守る政治」に変えましょう。北海道知事候補には、野党4党と市民団体の統一候補、石川知裕さんを擁立してたたかいます。参議院選挙の1人区では32のすべてに統一候補を立てて、安倍政権の退陣を迫ります。今年は安倍政権を終わらせる絶好のチャンスです。ご一緒に暮らしを守る政治にかえていきましょう!」と訴えました。

事実を広げ安倍政治を終わらせる年にしよう!

恒例のビンゴや、輪投げ、選挙関連クイズでは、賞品も出ました。

最後に、清水沢後援会の筒井勇治さんが「一斉地方選挙・参議院選挙で勝利し、安倍政治を終わらせよう。市議選でも、くまがい桂子さんを必ず当選させるため、団結ガンバリ」と呼びかけ、参加者一同元気に声をあげ新春のつどいは終了しました。



そして、紙智子参議院議員とはたやま和也元衆議院議員からのビデオメッセージが紹介されました。

沼ノ沢・真谷地後援会の池田博さんが「一斉地方選挙・参議院選挙、そして市議選でくまがい桂子さんを必ず当選させましょう」と決意をこめ、お茶で乾杯しました。



夕張労連 旗開き 安倍政権に終止符を

2月10日夕張労働組合総連合は旗びらきを開催、春闘の情勢と12年ぶりの大選挙に関して問題点を学習し討論しました。

主催者代表の挨拶をした筒井勇治議長は「通常国会の幕開けから賃金統計の不正調査が明るみになり、ウソとごまかし、安倍政治がいよいよ行きづまりを見せている」として「市民と野党の共同で安倍政権に終止符を打つために学習しよう」と集会の意義を訴えました。

来賓挨拶に立ったくまがい桂子共産党市議は、差し迫った夕張市議会議員選挙や鈴木直道氏の知事選出馬など市民の関心が高まっている情勢について話しました。また、道労連から来賓として参加した



武田事務局次長は知事選挙に関して、道労連が参加している「明るい革新道政を作る会」においても石川知裕氏をおすこじになった経過を話しました。

集会はオーブニングで二人のギター奏者が数曲を演奏し、参加者と共に「がんばろう」のうたごえで旗びらきの雰囲気盛り上げました。また、鈴木前市長、厚谷議長、労金夕張支所長などからのメッセージが紹介されました。

最後に春闘アピールを採択し、議長の音頭で団結ガンバロウを唱和しました。

くずさんの 夕張歴史散歩 (105)

明治維新 21 / 朝鮮干渉 ⑤

一八九四年(明治27年)七月二十三日、日本軍は突如として朝鮮王宮(景福宮)を攻撃します。日本軍は王宮を守る朝鮮兵とたたかい(日本軍戦死一名)、朝鮮兵をのこらず城外に追い出し、城壁に軍旗をひるがえし、王宮を完全に占領します。

そして国王を拘束し、「朝鮮に駐留している清国軍」を「朝鮮から追い出して欲しい」と日本に要請させたのです。

日清戦争の大義名分とは

こうして明治政府は、「日清戦争は“朝鮮国王の要請を受け、清国軍を朝鮮から駆逐するための戦争”という大義名分を得た」として日清戦争に突入したのでした。

ところが、この王宮軍事占領や国王「虜」事件は無かったと主張する勢力もいます。しかし参謀本部編「日清戦史」草案には、明白に述べています。「日本の戦争はなんだったか」(岡吉典著参照)

日清戦争はじまる

かくして、朝鮮半島を舞台に「清国討つべし」の謀略が完成し、同年八月一日宣戦布告の勅が発せられます。しかし、それより前の七月二十五日には仁川に近い豊島沖で、日本帝国海軍の「吉野」「秋津洲」「浪速」の三艦と清国軍艦「濟遠」「広乙」が遭遇、砲撃戦が始まっています。そのさなか、「浪速」(艦長東郷平八郎)は、清国軍を満載した英国の輸送船「高陞号」(コウショウ号)を撃沈します。同日、帝国陸軍も進撃をはじめ、二九日牙山と成歙で清国軍と戦います。

つまり、宣戦布告の前に奇襲戦をしかけ、戦争は始められていたのです。(太平洋戦争も同じ)



岩渕友「国会かけある記」
参議院議員

岩渕 友

運動と結んで政治を前へ

通常国会開会から2週間余り、野党の追及で統計不正問題での嘘と隠れが次々と明らかになり。特別監察委員会の報告書について、不正調査にかかわった職員に対する聞き取りが官房長や審議官同席で行われ、報告書の原案を厚生労働省が作成して行われました。関係者の国会招致がようやく行われたものの、統計不正について答えないのはあまりにもひどいことです。

失業した方や労災で亡くなられた方の遺族年金など、命綱ともいえる給付が、2000万人、567億円過少給付されていたことは重大であり、徹底説明が必要です。

市民と野党の共同は国会冒頭から力を発揮しています。開会2日目には統計不正問題の野党合同集会が行われました。昨年、4野党と無所属の議員が国会史上初めて提案した「原発ゼロ基本法案」の審議入りを求める集会に、多くの市民と野党議員が集まりました。衆議院経済産業委員会の委員名簿が配られ、市民から審議入りを求める声を届けようと提起されています。委員会の運営を決める理事も委員も圧倒的に多いのが自民。この力関係を変えなくてはなりません。

子ども医療費の無料化制度の創設、ペナルティの完全廃止実現をめざす集会にも全国各地から多くの方が参加、北海道のみなさんとも交流できました。運動と結んで政治を前へ、そして何といっても選挙で変える。全力を尽くします。